

医師

第12回 市民健康セミナー開催報告

耳鼻咽喉科医師 楊 承叡 ※楊医師は12月末で当院から転勤しています。



平成28年11月19日(土)、当院講堂で第12回市民健康セミナー『がん医療の最前線～乳がん・前立腺がんを知る～』が開催され、約130人の地域の皆さまにご参加いただきました。

まず、加藤文彦院長より「前立腺がんは男性のみが罹患しますが、乳がんは誰でも罹患する病気です。」という前置きで御挨拶をいただきました。皆さんぐっと惹かれたようで終始とても真剣に聞いておられました。

続いて、がん化学療法看護認定看護師の後藤真澄師長から「もしもあなたが、がんと診断されたら誰に相談しますか」と題した講演がありました。がんは高齢者の病気と考えがちですが、実は50～60代の働き盛りで亡くなる方が多いようです。「向き合い方は人それぞれ、まずは大切な人を思い浮かべて相談してみてください。」との提案がありました。

次に、泌尿器科 小谷俊一部長から「前立腺がんの話～実は気づかれにくい病気・前立腺がんを知ろう!～」と題した講演があり、とにかくPSA検診が大事と幾度も強調されました。2020年にはおそらく前立腺がんの罹患率が全がんの中でトップとなるそうです。50歳以上の名古屋市民なら、年1回500



円でPSA検診を受けられますので、体調のよい時に検診を受けるよう勧められました。

3本目の講演として、外科・消化器外科 水谷哲之副部長から、「乳がんについて～早期発見・早期治療のためにすべきこととは?～」と題したお話がありました。乳がん



患者は増加傾向にあり、現在11人に1人が罹患するようです。予後は比較的良好であり、早期発見・早期治療が肝要で40歳以上であれば2年に1回の検診が推奨されているそうです。検診と検診の間に発症することもあるので自己触診でしこりがないか確認する事も効果的と結びました。

今回は2つのがんに関する一般的な知識と早期発見・早期治療の重要性について、大変分かりやすく説明していただき、最後に、「当院にはがん相談のサポート体制が整っているので、困った時にはいつでも御活用ください。」との坂口憲史副院長のお言葉で今回のセミナーは締めくくられました。

今回のセミナーが、皆さんががん予防に関心を持つきっかけになれば、このセミナーの運営に携わった広報委員会メンバーとして、大変嬉しく思います。

当院では年2回、市民健康セミナーを開催し、そのうち1回はがんをテーマにしております。どなたでも参加でき、一般の方でもわかりやすい内容となっていますので、ご興味のある方は、ぜひご参加ください。

- ・参加費：無料・事前申し込み制です。
- ・病院HP、病院掲示のほか、新聞掲載でも開催をご案内いたします。